



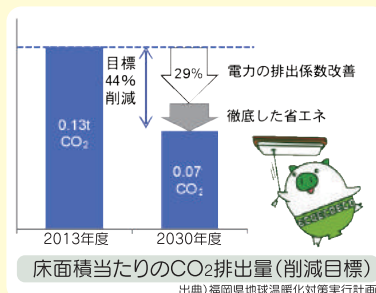
はじめに

- 地球温暖化の原因となっている二酸化炭素（CO₂）は、個人の生活や経済活動等から排出されており、県民、事業者が協力してCO₂排出量を減らす省エネルギー・省資源に取り組むことが大切です。
- かけがえのない地球、そして未来のために、今日から、この「ふくおかエコ事業所応援book（福岡県環境家計簿・エコ事業所版）」を活用して、あなたの職場でも是非、事業活動の中で地球温暖化防止に取り組んでください。

福岡県地球温暖化対策実行計画と、事業者期待される取組

- 2015年12月に、世界共通の長期目標として、平均気温上昇を産業革命以前に比べ2℃未満に抑えることに合意した「パリ協定」が採択され、すべての国が参加する地球温暖化対策が動き始めました。
- 県では、国内外の動向を踏まえ、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比26%削減する目標などを定めた「福岡県地球温暖化対策実行計画」を2017年3月に策定しました。
- この目標達成のため、事業者においては、床面積当たりのCO₂排出量を44%削減することが必要です。
この44%のうち、電力の排出係数の改善効果*（29%）を除いた15%（約19kg/m²・年）について、各事業所における徹底した省エネにより削減する必要があります。

* 電気1 kWhを発電する時に発生するCO₂排出量



コラム

温暖化対策の魔法のツール

PDCA

- 事業活動の中でCO₂排出量を確実に削減しつつ、人財力・組織力や競争力も向上させる仕組みとして「環境経営（環境マネジメント）システム」（EMS: Environmental Management System）」が注目されています。
- これは事業者がその経営において取組を実施するための方針や目標を設定（計画=P:Plan）し、これらの達成に向けて取り組み（実施=D:Do）、その取組結果を確認及び評価し（確認・評価=C:Check）、さらなる改善（見直し=A:Action）を図っている仕組みであり、このPDCAサイクルを基本として環境への取組の継続的改善を図っていくものです。
- 環境マネジメントシステムは、PDCAサイクルを基本に、事業活動に伴い発生する環境負荷（CO₂排出量、廃棄物排出量、廃水排出量等）を減らすとともに、環境に配慮した製品やサービスを提供する等環境への取組を推進する仕組みで、エコアクション21やISO14001で採用されています。

事業所での省エネ行動によるCO₂削減量

区分	省エネ行動	削減量
1	昼休みにはコピー機（拡張機能付デジタル普通サイズ複合機）の主電源を切る	約9kg/台・年
2	OA機器	
3	昼休みにはプリンタ（普通サイズ複合機）の主電源を切る	約10kg/台・年
4	昼休みにはパソコン（デスクトップ型）の主電源を切る	約3kg/台・年
5	照明	
6	昼休みの消灯に努める（40W蛍光灯100本と仮定）	約370kg/年
7	空調機器	
8	エアコンの冷暖房温度を適正温度に設定する（冷房26→28℃、暖房22→20℃）	約8kg/m ² ・年

高効率な省エネ機器・設備への買替えによるCO₂削減量

区分	省エネ行動	削減量
1	5年前のコピー機（拡張機能付デジタル普通サイズ複合機）を最新型に買替え	約107kg/台・年
2	OA機器	
3	5年前のプリンタ（普通サイズ複合機）を最新型に買替え	約28kg/台・年
4	5年前のパソコン（デスクトップ型）を最新型に買替え	約7kg/台・年
5	照明	
6	蛍光灯（40W）100本を直管型LED（15W）に買替え（1日8時間250日使用）	約1,850kg/年
7	空調機器	
8	5年前の業務用エアコン（10kW）を最新型に買替え（1日8時間冷房85日、暖房105日使用）	約206kg/m ² ・年

